

All English Summer School 2013 in Japan 参加報告

神戸高専 電気工学科 4年 土江啓太

私は8月19日から29日にかけて東京高専で行われた All English Summer School に参加してきました。

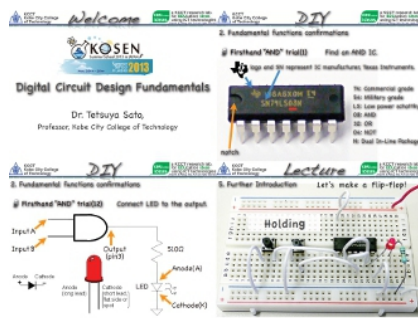
このプログラムでは、アジアの国々から集まった工学部の学生たちと一緒にさまざまな分野を勉強し、国際交流を深めました。留学生は香港や韓国、台湾、インドネシアなどから来た学生で、皆それぞれに個性があり、普段では経験できない10日間を過ごすことができました。

このプログラムを通して、千利休が立ち上げた日本の伝統のお茶会や、半導体を使った実験など、興味深い授業を全て英語で受けることができました。また勉強だけではなく、放課後や寮での生活の中で、何気ないことでも文化の違いを学び合うことができました。留学生とお互いの国について話し合い、交流を深めました。同じアジアでも全く違った習慣がありましたが、反対にとっても似た習慣もありました。みんなで手持ちの花火をやったときも、韓国では花火は禁止されていて、夏に花火をすることは日本の文化であることを知りました。留学生の国々について学ぶことができただけでなく、反対に自分の知らない日本の一面を知ることでもできて、自分の成長にもつなげることができました。

今日ではグローバル化が進み、国際交流が重要なものとなっています。工学の分野でも英語が必須になってきています。今回のプログラムのように日本にいながらでも、英語で授業を受けて、英語で会話しながらいろいろな事柄に取り組んで国際交流を行っています。留学生との交流は、普段の暮らしの中では見えなかった日本の本当の文化を知ることができるいい機会だと思います。英語上達のために、海外留学を考えるのも一つの手ですが、今回のような国内での「留学」の機会があれば、貴重な経験ができると思います。



Commemorative photo after the Opening Ceremony



Digital Circuit Design Fundamentals Class provided by Prof.Tetsuya Sato



at a discussion session



at Sensoji temple



at Tokyo Skytree